

X I Fファイル作成ツール

WRS-X I F

V 1 . 3 0

取扱説明書

2008年05月07日

watanabe

渡辺電機工業株式会社

目 次

	Page
第 1 章 製品が届きましたら _____	1
第 2 章 動作条件 _____	2
第 3 章 プログラムのインストール _____	3
第 4 章 プログラムの起動 _____	8
第 5 章 操作 _____	9

- ・PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- ・Pentium は米国 Intel 社の登録商標です。
- ・MS-Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

※この説明書の内容は、改善のため予告なしに一部変更することがありますのでご了承下さい。

第1章 製品が届きましたら

このたびは「X I F作成ツール (WRS-X I F)」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

本プログラムは、ジョイントモジュール (W J M)、I P-L O N (W I L B) に接続する
機能ユニット (W J F) の情報を X I F 形式ファイルに作成するツールです。

この取扱説明書には「X I F作成ツール (WRS-X I F)」をコンピュータにインストール
する方法、および、インストール後の操作について書かれています。
製品を正しく末永くご使用いただくために、ご使用前に必ずお読み下さい。

【製品の確認】

次のものがお手元に揃っているかご確認下さい。

なお、この取扱説明書・C D-R O M は大切に保管して下さい。

- ・「X I F作成ツール (WRS-X I F)」C D-R O M ... 1枚
- ・ 取扱説明書 (本書) ... 1部

第2章 動作条件

【動作環境】

1. ハードウェア

- コンピュータ : IBM PC / AT 互換機
- ・ CPU : Intel Pentium 200MHz 以上
- ・ メモリ : 128MB 以上推奨
- ・ ハードディスク : インストール時、50Mバイト以上の空き
- ・ CD-ROM : 必須
- ディスプレイ : VGA 800 × 600 以上
- マウス : 必須

2. OS

MS-Windows98 / ME / 2000 Professional / NT4.0 (ServicePack5 以上) / XP Professional

第3章 プログラムのインストール

本プログラムをコンピュータにインストールします。

注意！

MS-Windows 2000/NT/XPに、本プログラム「XIF作成ツール」をインストールする場合、インストールする前に必ず『administrator』でログインして下さい。

5-1 プログラムのインストール

【1】CDドライブにインストールCD「XIF作成ツール (WRS-XIF)」を挿入します。

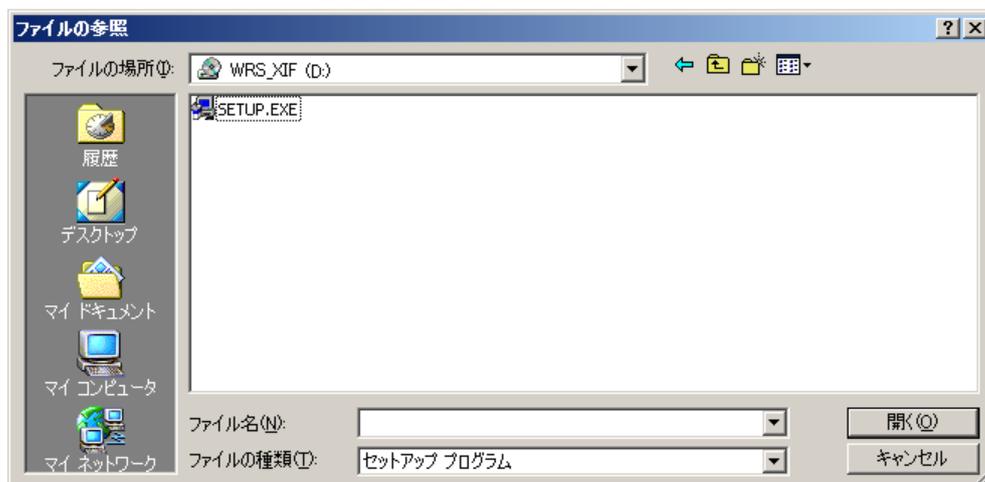
【2】『スタート』メニューから『設定』を選択し、『コントロールパネル』の『アプリケーションの追加と削除』より『プログラムの追加』を選択して、『CD又はフロッピー』をクリックします。

- 【3】『次へ>』をクリックして、「インストールプログラムのコマンドライン」で下記のように入力して下さい。

X : %setup.exe
↑
インストールCD挿入ドライブ名



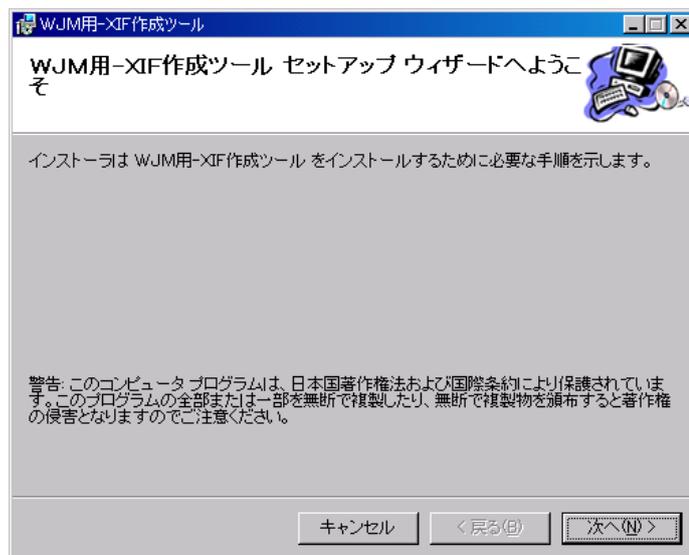
『参照』からも設定できます。



『開く』をクリックして、「インストールプログラムのコマンドライン」に上記のように入力してあるか確認して下さい。

『開く』をクリックするとインストールCDの読み込みが開始され、下記の画面を表示します。

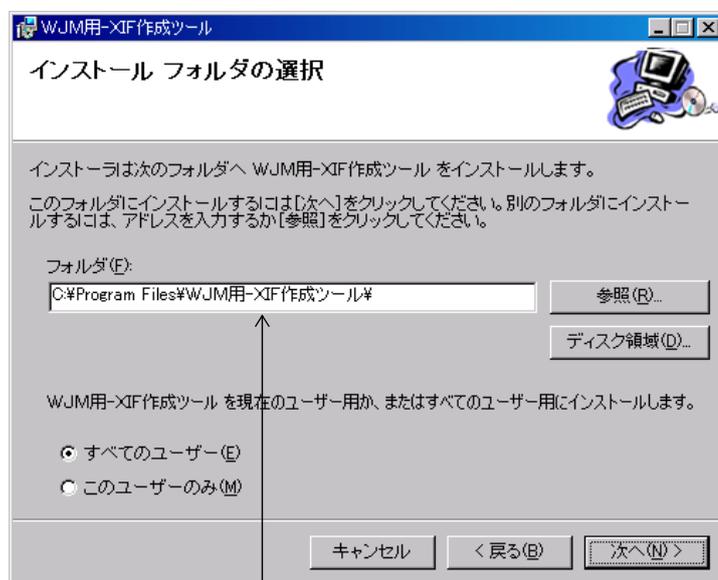
『次へ>』をクリックするとXIF作成ツールのセットアップを開始します。



↑ インストールを続行します。
↑ インストールをキャンセルします。

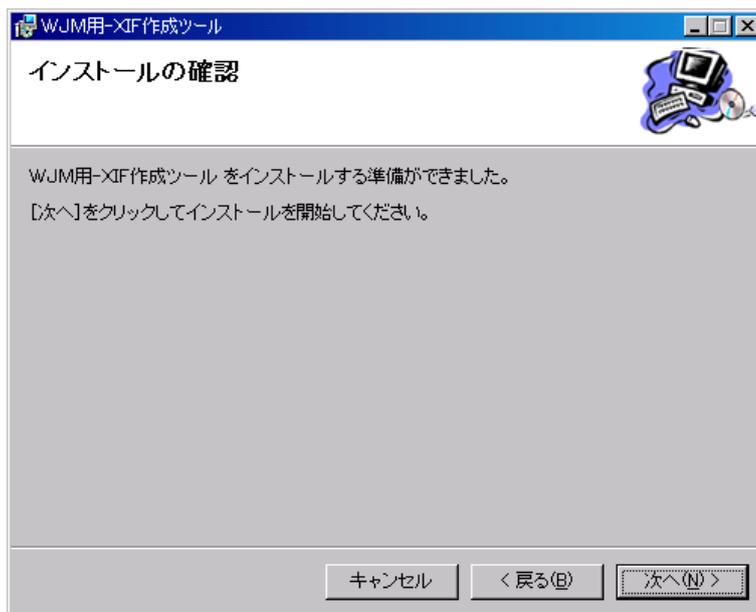
【4】インストール先のフォルダを確認後、『次へ>』をクリックします。

※通常、インストール先のフォルダ確認画面では、フォルダを変更せずに次へ進んで下さい。

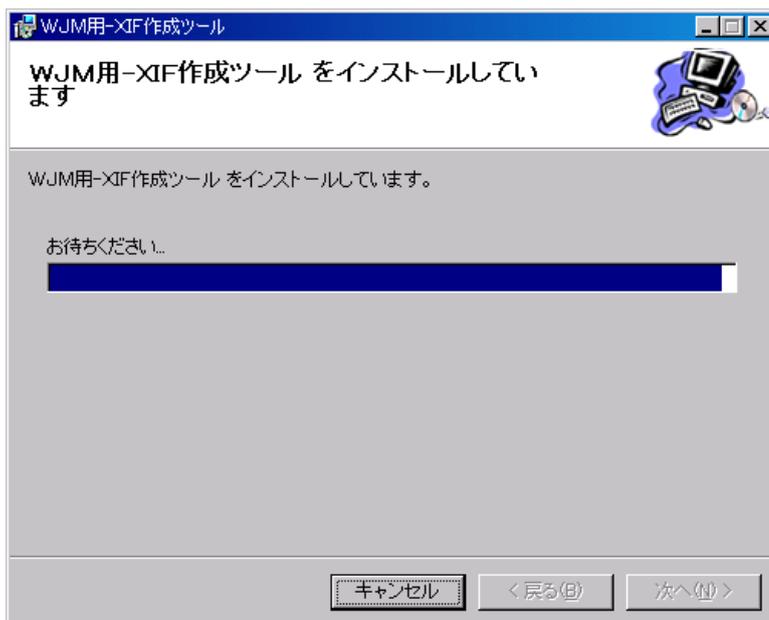


↑ インストール先のフォルダを表示します。

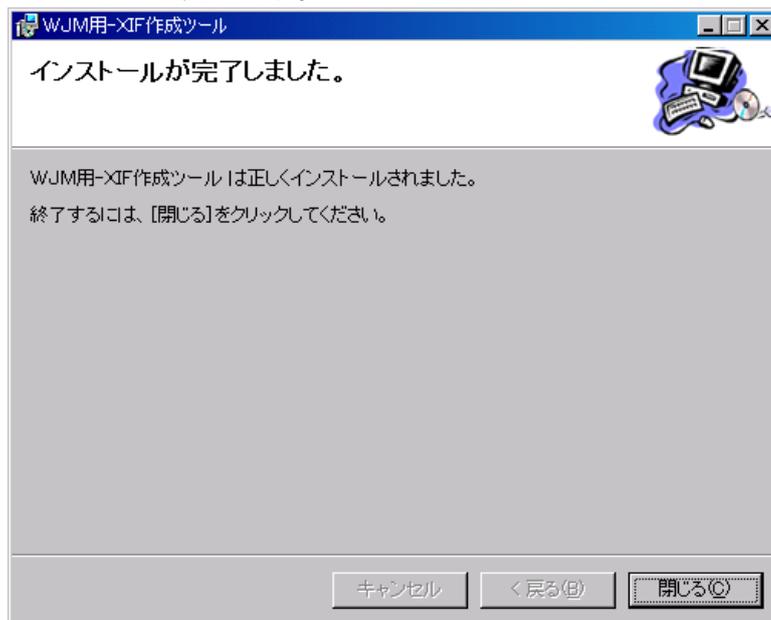
【5】下記の画面を表示したら、『次へ>』をクリックして下さい。



【6】インストール中です。



- 【7】下記の画面を表示したら、『閉じる』をクリックして下さい。
インストール完了です。



第4章 プログラムの起動

【1】『スタート』をクリックし [スタート] メニューを表示します。

【2】『すべてのプログラム (P)』を選択後、『WJM 用-XIF 作成ツール』を選択しますとプログラムが起動します。



第5章 操作

WJM用 - XIF作成ツール
ファイル(F) ヘルプ(H)

プログラムID
90:00:7B:18:93:00:00 モデルNo 40

拡張コマンド
 対応 非対応

実装I/Oユニット

I/Oユニット1	WJF-AI16(電流入力)
I/Oユニット2	WJF-DI16□□
I/Oユニット3	WJF-DO16□①
I/Oユニット4	WJF-IZ8
I/Oユニット5	未実装
I/Oユニット6	未実装
I/Oユニット7	未実装
I/Oユニット8	未実装

仮想ユニット

- デマンドユニット1
- デマンドユニット2
- IU
-
-
-
-
-

レディ NUM

- ※ 『モデルNo』に“40”を入力します。
- ※ 『モデルNo』は“40”固定で入力して下さい。

- ※ 『拡張コマンド』のラジオボタンを選択します。
 『対応』: WILB(IP-LON)のXIFファイルを作成する場合
 『非対応』: WJM(ジョイントモジュール)のXIFファイルを作成する場合

- ※ 『I/Oユニット1』～『I/Oユニット8』に、A～Hユニットに接続されるI/Oユニットの名称を選択します。

I/Oユニットの名称と機能ユニット(WJF)の対応は以下の表になっています。

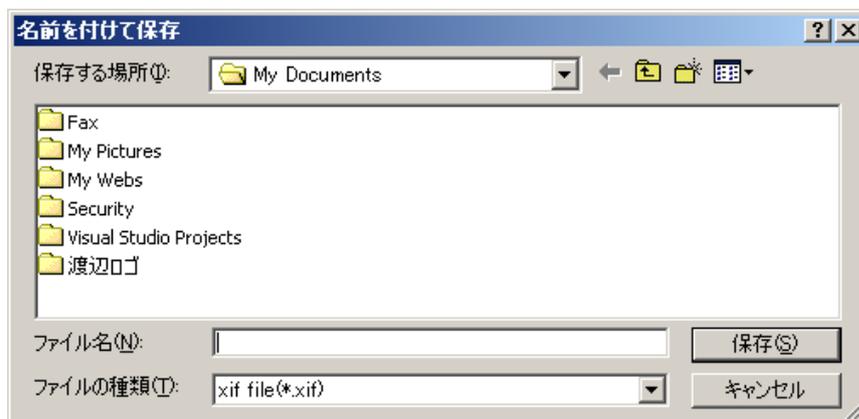
I/Oユニット名称	機能ユニット(WJF)
WJF-AI16(電流入力)	アナログ入力ユニット電流タイプ(16ch)
WJF-AI16(電圧入力)	アナログ入力ユニット電圧タイプ(16ch)
WJF-CT4	交流電流入力ユニット(4回路)
WJF-AE8	交流電流入力ユニット(8回路)
WJF-VT4	交流電圧入力ユニット(4回路)
WJF-RI8	測温抵抗体入力ユニット(8ch)
WJF-TH16	サーミスタ入力ユニット(16ch)
WJF-PA2	電力監視ユニット(2回路)
WJF-PE4	電力監視ユニット(4回路)
WJF-PA34	電力監視ユニット(1回路、三相4線)
WJF-DI16□	デジタル入力ユニット(16ch)
WJF-DO16□ ①	デジタル出力ユニット(タイプ1)(16ch)※
WJF-DO16□ ②	デジタル出力ユニット(タイプ2)(16ch)※
WJF-IZ8	漏電計測ユニット(8回路)
WJF-STO	RS232Cユニット
未実装	未接続

- ※ 「WJF-DO16□ ①」と「WJF-DO16□ ②」は、接続されるメインユニットの種類とバージョンによって切り替える必要があります。

	WJM (ジョイントモジュール)	WILB (IP-LON)
“WJF-DO16□ ①” (タイプ1)	V1.00～V3.00	V1.00～
“WJF-DO16□ ②” (タイプ2)	V3.10～	なし

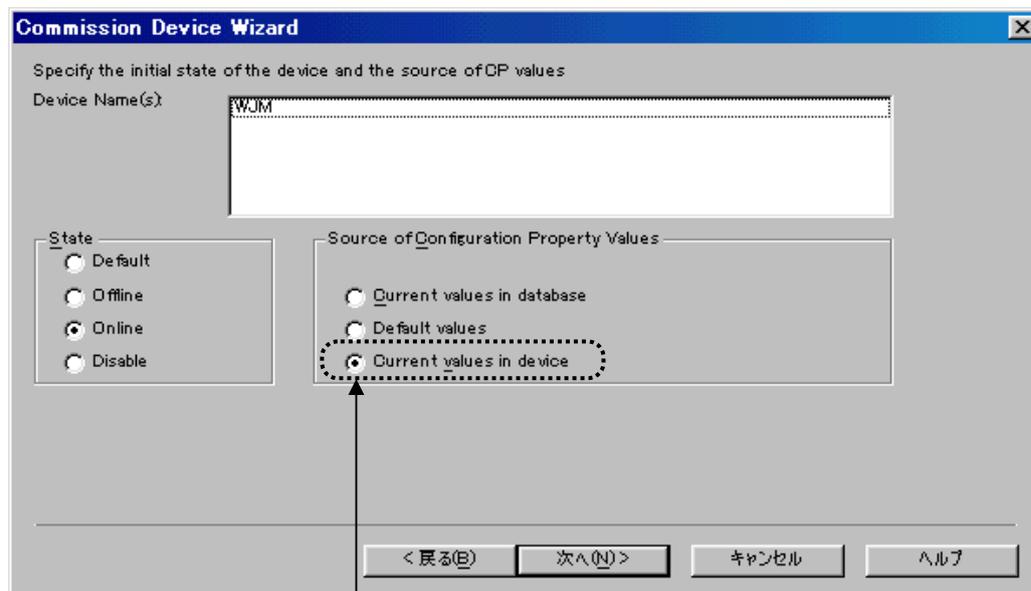
※ SNVT s 設定ツールから I P - L O N へ SNVT s 実装リストの C S V ファイルをダウンロードした場合、『仮想ユニット』の『I V U』をチェックし、ダウンロードした C S V ファイルを『ファイル選択』から指定します。

※ メニューの『ファイル』で『名前を付けて保存(A)...』を選択し、パスとファイル名を指定して、X I F ファイルを保存します。



※ 注意！

LonMakerでXIFファイルで登録後Commissionする時に、Source of Configuration Property Valuesの設定をCurrent Values In Deviceに設定して下さい。



こちらを選択して下さい

渡辺電機工業株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目16番地19号

電話 03(3400)6141(代表) FAX 03(3409)3156

ホームページ <http://www.watanabe-electric.co.jp>

(JR原宿駅/地下鉄千代田線明治神宮前駅下車)